

国家公務員の年次休暇の使用実態（平成30年）

令和元年9月
人事院職員福祉局職員福祉課

【調査概要】

- 「平成31年国家公務員給与等実態調査」（人事院）から作成
 - 対象期間：平成30年1月～同年12月
 - 対象職員：241,678人（男性197,490人 女性44,188人）
〈調査対象から除外している職員〉
 - ① 平成30年1月2日以降に採用された職員（公庫等との人事交流により採用された職員を含む。）
 - ② 平成30年1月1日から同年12月31日までの間に以下の職員である期間があった職員
 - ・ 休職、育児休業等の定員外職員
 - ・ 育児短時間勤務等職員
- ※ 組織区分は、平成31年1月15日時点で在職していた組織区分に基づき分類

【調査結果】

年次休暇の平均使用日数

平成30年の平均使用日数は、全体平均で14.8日であり、前回調査（平成29年）に比して0.4日増加している。

組織区分別では、本府省において0.3日、本府省以外において0.5日増加している。

表 組織区分別平均使用日数

（単位：日）

組織区分別	30年	(29年)
計	14.8	14.4
本府省	13.4	13.1
本府省以外	15.1	14.6